

■ インプットからアウトプットへ、ゆるやかなグラデーションを！ やり取りの中から気づきを！

Let's Listen や Let's Watch and Think など、「見て・聞いて(インプット)」の活動が豊富なだけでは、Activityの「話す(やり取りする・発表する)」活動は、すぐに上手にできるようになりません。



リスニングからスピーキングへのつなぎを充実させましょう。「自分のこと・身の回りのこと」を題材に、先生と児童とのコミュニケーションを豊富にすることがポイントです。会話の際には、先生による単語や表現の確認・修正が大切です。

■ Unitを構成する各活動を一工夫しましょう！



We Can! 付属の♪Let's Chantを有効活用しましょう。「スピード・音声の有無・字幕の有無」の組み合わせで、様々な使い方ができるのが特徴です。皆さんは、はじめてチャンツを児童に「聞かせる・見せる」とき、どの組み合わせから始めていますか？ おすすめは、「ゆっくり・音声あり・字幕なし」です。児童にインプットさせる情報は初めは少ない方がいいでしょう。「文字情報」は後から、最初は音声に集中させて聞かせる方がよいでしょう。



🔄 Let's Talk を積極的に使いましょう！

[第1時の展開イメージ]

I went to the sea.
How about you, Saki?

I went to the sea, too.

You went to the sea!
I see.
How about you, Ken?

Mountain!

Oh! I see.
You went to the mountain!

Yes!
I went to the mountain.

OK!
How about you, Yui?

I went to the grandparent's house.

I see.
You went to the grandparent's house.
Thank you!

Thank you,
Kyoko sensei.

先生との会話(やり取り)の中で、単語や表現の音声に何度も触れさせることが、児童の発話につながっていきます。そのやり取りの中で、獲得させたい単語や表現に気づかせていくことが大切です。

2019年2月1日(金)外国語教育研修講座に関するプレゼン資料、チャンツやミニカードのデータは、教職員共有フォルダ内の教育研究所外国語教育グループより入手することができます。

参考資料：文部科学省 新学習指導要領に対応した小学校外国語教育新教材について 第6学年指導案例、北海道教育大学小学校英語・小中連携フォーラム 山梨大学教授 田中武夫氏 講演資料、北海道教育大学 特任講師 内野駿介氏 ワークショップ資料、北海道教育大学免許法認定講習 北海道教育大学教授 萬谷隆一氏 英語科教育法C資料



教育研究所(斉藤文庫)の蔵書(英語絵本)



▶ 借り方

斉藤文庫と同様です。
連絡先：0143-26-2888
※室蘭市教育研究所は、旧絵鞆小の校舎です。
事前に連絡してください。

リーフレットに関する情報は、室蘭市教育研究所HPより入手することができます。「室蘭市教育研究所HP」で検索可能です。



QRコードはこちらからどうぞ！